

名誉園長の部屋

<news>

名誉園長の文化講演のお知らせ
恒例になりました紅葉の季節の催し
「オータム・イン・植物園」今年は府
立植物園再開園50周年を記念して
名誉園長の講演を予定しています。
11月23日(水・祝)午後2時30分
「出版記念講演」お楽しみに！

次回 きまぐれ散歩のお知らせ

12月18日(日)午後1時から
植物園会館前集合 先着30名

「名誉園長の植物園おもしろガイド」
好評発売中！

「打って出る 京都府立植物園」

名誉園長の植物園再生への熱い想いが満載！

9月末発売予定

*活動予定はここで要チェック。

お楽しみに！

<プロフィール>

- [1975年 京都府入庁](#)
- [1995年 京都府立植物園勤務](#)
- [2006年6月 京都府立植物園長就任](#)
- [2010年5月 京都府立植物園長退任](#)
- [同 京都府立大学客員教授就任](#)



今、これを見てほしい！

松谷 茂

されどドングリ part1

「ドングリの木はどこにありますか」と聞かれることがありますが、「ドングリ」という名前の樹木はありません。コナラやマテバシイなどブナ科の樹木に生る果実を総称して「ドングリ」と言い、独特のあの形を見るだけで、子供の頃に戻ったような気分になり、笑顔の自分に気づきます。

日本では、ドングリの生る樹木は約20種ほどが自生していますが、そのほとんどを京都府立植物園は保有しています。

先日植物園で、よく似た形のドングリ、二種を拾ってきました(写真-1)。

色の違いはありますが、パッと見では同じ種類のように見えます(写真-2)。結論を先に言いますと、左は「シリブカガシ」、右は「マテバシイ」です。



写真-1



写真-2

「シリブカガシ」は尻深榿、お尻が深く凹んでいることが和名の由来です。右の「マテバシイ」のお尻を見て下さい、凹んでいます。どちらも凹んでいます、もう一度お尻にグーッと焦点を当てて凹みの深さと凹みの広がりを見て下さい。「シリブカガシ(左)」は狭く深い、「マテバシイ(右)」は広く浅い(写真-3)。これで、違いは完璧に区別できます。



写真-3

違いが分かったところで、オモロ話題。

その1。

「シリブカガシ」の果実の表面は、蠟状の物質で白くなっていますが、布などでこすりますと、見事にピッカピカのダイヤモンドに大変身(写真-4)! 落ちている「シリブカガシ」を拾って、一度お試しあれ。



写真-4

話題、その2。

「マテバシイ」の学名は、*Lithocarpus edulis*。edulis は英語の edible の意。今年は時期を失しましたが、来年は是非、edible を実践されんことを!

話題、その3。

ドングリの大きさには変異があります。一本の木に生るドングリからその変異性を調べるには、拾ったドングリをひたすら並べるとわかってきます。単純です。これは個体内変異。一方、別々の木で、木ごとのちがいを比べてみると、これは結構面白い。これは個体間変異。

写真-5 の、左側の 1,2 はそれぞれ個体が異なるシリブカガシの、また、3,4 はそれぞれ個体が異なるマテバシイの、ドングリの個体内変異です。1 本の木から生じるドングリの大きさには余り変化がなく(個体数が少なすぎることをご容赦ください)、いわゆる「ドングリの背比べ」がわかります。ところが、個体間変異、個体が異なる「シリブカガシ」間でドングリを比べると、その形に違いが見えることがあります。



写真-5

「マテバシイ」でも、3 と 4 とでは明らかに形が違います。これは個性ですね。

形の違いをドングリの最大横径(l)と縦径(w)の比(l/w 比)で見ます。「シリブカガシ」で比較しますと(写真-6)、左のスリム型の 1.93 に対し右のポッチャリ型は 1.44 でした。同様に「マテバシイ」(写真-7)では、2.01 と 1.33 と「シリブカガシ」より差があり、見た目と同様数値にもその傾向が反映しました。この結果、スリムなドングリほど l/w 比の数値が高いことがわかりました。



写真-6



写真-7

次回は、「シイ」を観察します。

秋本番です。

京都府立植物園へご来園いただき、「錦秋の秋」を満喫してください!!!